

Q、 の人はゴスやロリを着てはいませんか？

A、法律では現在禁止されていません。とりあえず、周りの人が嫌がるのであれば、何とかするべきではないでしょうか。ただし、如何なる場合においてもゴシックやロリィタにおいて言い訳や手抜きは嫌われます。ですが、本人がどんなに努力をして改善を心がけていても、嫌味や悪口を言う人がほとんどです。自分は努力していると思うのであれば、相手にしないことです。

Q、 (ブランド名)って痛い？

A、自分が好きなら着て良いと思います。どんなブランドでも批判する人は居るものです。ただし、それ以前にロリィタ・ゴスロリファッションというよりもコスプレ向けであったりする物は普段着や街着にするのはあまり好ましくありません。あれらは家からではなくイベント会場で着替え着用するものだからです。普段着として着用するとなると色々と問題が出てきます。原宿ではコスプレイヤーさんが居るので、そういった所なら大丈夫でしょう。ちなみにこういう聞き方をすると、そのブランドが好きな人が怒ったり、不安にさせたり、場に悪影響をあたえたりするので気をつけましょう。

Q、具体的に何をすると「痛い」と思われるの？

A、服装に関係なく、一般的に倦厭される迷惑行為の全てとちょっと頭のねじが外れたような喋り方や行動をすること。コーデでは服は全部決まっているのに髪型にこだわっていなかったり、足元が擦り切れた運動靴だったり、ローファーだったり、ローファーは一応、フォーマルっぽくあるので考えた形跡がありますが、やはり靴はちゃんとしていないという風に捕らえられます。後は服装は華やかなのにメイクをしていなかったり...など。これらは心構え的な問題というより見た目の問題です。上のようになっていると、いくら素敵な服を着ていても「台無し」になってしまいます。華美であり人数が多くない服装であるから余計にその「おかしさ」が目立ち「痛い」になってしまうのです。その他に服が一般人向けのコスプレ衣装であまりに安っぽかったり、あまりに季節にあっていない服だったり服自体に関しても言えますね。これらを避けることにこしたことはありませんが、あまり「痛くないかどうか」に「捕われる」のも良くないことです。何故かそれもまた痛い...と言われます。ですから、これらの意見は気軽にアドバイスとして受け止めましょう。ローファーに拘るのならローファーでもいいのです。それが理由を付けて手を抜いてそれを着用する人が居るから、他の部分にもそれが出て痛い着こなしになってしまう人が多いということなのです。

ゴスロリ自体が痛いから、何をしても同じという投げやりな意見もありますが、一般人でもそのくらいの区別はつきますし、そこまで盲目的でもありません。人に聞いて、TVを見て、言っているとおりゴスロリ=痛いだけ関連づけて何も考えない人も居ますが、ほとんどの人が一度そう思ったとしても実物をちゃんと踏まえて判断します。TPOも踏まえ、きちんと着こなされていれば、痛いと思われることも嫌われることもありません。

Q, 男性がロリィタ等の可愛いファッションに興味を持つのは異常でしょうか...?

A, 元々女装(この場合単なる異性装も含め)はセクシーで女性らしさを強調する物しかありませんでしたが、更なるニーズに応え可愛い女装という概念が出来た事は特に不思議な現象ではありません。女性らしさ、男性らしさもあくまでジェンダー(社会に求められた性)であり偶像でしかなく、実際のところ女性的な男性も居るため一言では言い表せないものです。現代では男性が女性を演じたりスカートを履いたりする事も珍しくないので、[V系](#)の女形っぽくファッションの一部としてロリィタの要素を取り入れたいなら実践者が思うよりも意外とハードルは低いと考えられます。